

平成31年度予算概算決定額の概要

会計検査院所管の平成31年度予算概算決定額の総額は、17,720百万円であり、これは、前年度当初予算額17,501百万円に対し、219百万円（1.3%）の増額となっています。

（単位：百万円）

組織・項	平成30年度 当初予算額 (A)	平成31年度 概算決定額 (B)	対前年度 比較増△減 (B-A=C)	対前年度比率 (C/A)
				%
(組織)会計検査院	17,501	17,720	219	1.3
(項)会計検査院	17,418	17,697	279	1.6
(項)会計検査院 施設費	83	23	△60	△72.1

（注）四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

会計検査院は、会計検査機能を充実強化する施策として、次の4項目を重点事項としています。

1 検査体制等の充実強化

内閣から独立した憲法上の機関としての使命を果たし、行財政の動向等に適切かつ機動的に対応した検査の充実等を図るための検査要員等の増員及び機構の充実強化を図ります。

(1) 検査要員、検査支援要員等の増員

内閣から独立した憲法上の機関としての使命を果たすため、検査体制を充実強化するとともに、行財政の動向等を踏まえて、教育・科学・スポーツに関する検査、決算・財政状況等の分析に関する検査、社会保障に関する検査等の検査需要の増大に対応するため、また、会計検査の支援体制等を充実強化するため、調査官等19人の増員となっています。一方で定員合理化等による削減が16人あるため、差引き3人の増員となっています。

(2) 機構の充実強化

研修に関する重要な事項についての企画、立案等に係る体制の充実強化を図るため、能力開発官付として、研修調査官を設置します。

2 検査活動の充実強化

情報通信技術を活用した検査及び国内や海外の検査等に必要な経費として1,984百万円（前年度比5.5%増）を計上しています。

① 会計検査情報システム経費

情報通信技術を積極的に活用して検査業務の効率化及び事務処理の省力化・迅速化を図るために、決算の計数確認及び分析処理を行う決算確認システムの再構築を続行したり、府省共通システムを利用する府省等から提出される電子化された証拠書類等を利活用したりするなどの情報システム経費として1,286百万円（前年度比12.2%増）を計上しています。

② 検査旅費

国内における検査やODAの現地調査、在外公館及び海外に所在する事務所等の検査対象機関に対する検査等を実施するための旅費として459百万円（前年度比6.8%減）を計上しています。

③ 会計検査活動費

会計実地検査を厳正かつ円滑に実施するための資料収集に必要な経費、実地検査関係等経費として239百万円（前年度比1.3%減）を計上しています。

3 研究・研修体制の充実強化

検査活動に資する研究を推進するための調査研究経費として21百万円（前年度比13.1%減）及び検査対象機関の行財政や施策等の複雑多様化・専門化等に的確に対応するための研修等の人材育成経費として136百万円（前年度比1.1%減）、合わせて157百万円（前年度比2.9%減）を計上しています。

4 国際業務活動の充実強化

各国の会計検査院で構成する国際組織の理事国としての国際貢献、各国の会計検査院との検査能力向上のための情報交換及び会計検査に関する国際的協調の動向に対応する情報収集・発信を行うための経費として73百万円（前年度比9.2%増）を計上しています。